



熊労基発第103号
平成24年8月8日

社団法人熊本県建設業協会長 殿

熊本労働局労働基準部長



今夏の職場における熱中症予防対策の徹底について

今夏の職場における熱中症の予防については、平成24年5月29日付熊労基発第66号により対策への取組をお願いしたところですが、本年7月中旬以降の急激な気温上昇に伴い、下記のとおり、職場における熱中症を原因とした死亡災害が多発しています。

このような状況を踏まえて、貴職におかれましては、上記通達に基づく熱中症予防対策について、一層の取組みを行っていただくとともに、会員事業場への周知等について、特段のご理解とご協力をお願いいたします。

記

1 今夏（平成24年）の職場における熱中症による死亡者数は、7月末時点で15名に達し、記録的猛暑であった平成22年の死亡者数に次ぐ状況です。

(1) 業種別内訳

建設業 13名、警備業 2名

(2) 月旬別内訳

7月中旬 6名、7月下旬 9名

(3) 都道府県別内訳

岩手県 1名、宮城県 4名、群馬県 1名、埼玉県 2名、東京都 1名、
富山県 1名、福井県 1名、静岡県 1名、愛知県 1名、三重県 1名、
福岡県 1名

（平成24年8月1日までの速報値。なお、平成22年の熱中症による死亡者数については、平成22年7月26日時点での速報値が13名、7月末までの確定値が27名。）

2 平成24年の梅雨明けは、沖縄で6月23日ごろ、奄美で6月29日ごろ、九州南部・九州北部で7月23日ごろ、四国・中国・近畿・東海・関東甲信で7月17日ごろ、北陸で7月18日ごろ、東北南部・東北北部で7月26日ごろとなっており（気象庁発表速報値）、梅雨明け以降に死亡災害が多発している状況です。

- 3 熱中症対策関連情報は、「職場における労働衛生対策」で確認できますのでご活用下さい。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei02.html>

4 災害の概要（速報のため変更の可能性あり）

	都道府県	業種	時間帯	概要（速報のため変更の可能性あり）
1	岩手	木造家屋建築工事業	18時頃	木造家屋建築で基礎型枠作業を行っていたところ、休憩中にふらつき、その後痙攣し始めたため搬送したが、その後死亡した。
2	宮城	建築工事業	15時頃	土間配筋作業中、暑さを訴え、自動販売機に向かって歩き出したところ、倒れた。
3	宮城	土木工事業	10時頃	復旧工事でブロック積みを行っていたところ、気分が悪くなり、事務所で休憩後、帰宅したが帰路で意識を失い、その後死亡した。
4	宮城	建築工事業	11時頃	道路工事の作業に従事し休憩をとっていたところ、休憩後に気分が悪くなり、意識を失った。
5	宮城	土木工事業	10時頃	災害復旧工事でダンプトラックの誘導を行っていたところ倒れ、その後死亡した。
6	群馬	電気工事業	11時頃	メッキ工場の電気設備改修工事で、管理業務に従事、休憩終了後に呼吸停止しているところを発見され、搬送されたが、その後死亡した。
7	埼玉	建設業	14時頃	木造二階建て家屋解体工事で、被災者が座り込んでいるところを同僚が声を掛けても応答がなく救急搬送され、その後死亡した。
8	埼玉	水道工事業	15時頃	水道管工事で単独作業中、被災者の様子がおかしいところを施主が発見、その後死亡した。

9	東京	警備業	14時頃	整備補修工事の警備員として交通誘導を行っていて、休憩をしていたところ、倒れているところを発見され、その後死亡した。
10	富山	警備業	15時頃	舗装補修工事の交通誘導を行っていたところ倒れ、その後死亡した。
11	福井	電気通信工事業	15時頃	鉄筋コンクリート造りの建物の屋内で電気工事を行っていたところ、倒れ、死亡した。
12	静岡	木造建築工事業	16時頃	住宅の塗装工事で、単独で高圧洗浄を行っていたが、倒れているところを発見され、搬送されたが、その後死亡した。
13	愛知	建設業	12時頃	電力マンホールの点検を実施していたところ、被災者がふらついているところを発見、救急搬送され、その後死亡した。
14	三重	土木工事業	17時頃	舗装改良工事で、荷降ろし作業を行っていたが、気分が悪くなったため、救急搬送したが、その後死亡した。
15	福岡	建設業	10時頃	外壁改修工事で足場の解体作業中、気分が悪くなり、同僚が意識不明となっていたところを発見、その後死亡した。